

電車通勤のススメ

ガソリン価格が高騰している今、マイカー通勤から電車通勤に切り替える人が増えています。



電車通勤のメリット①

通勤時間を有効活用できる

移動時間が長い区間(例:敦賀-小浜間)では、年間544時間もの”自分時間“が生まれます。乗車時間を読書や仮眠時間などに充てることができます。

電車通勤のメリット②

お財布にやさしい

駐車場代やガソリン代の出費を抑えることができます。移動距離が長い区間(例:福井-敦賀間)では、年間約22万円お得に通勤できます。

パーク&ライドを活用しましょう

自宅から最寄りの駅が遠く電車を利用しづらい方は、駅近くの駐車場に車を止めて鉄道に乗り換える「パーク&ライド」をご利用ください。駐車料金が無料の駐車場もあります。



福井鉄道

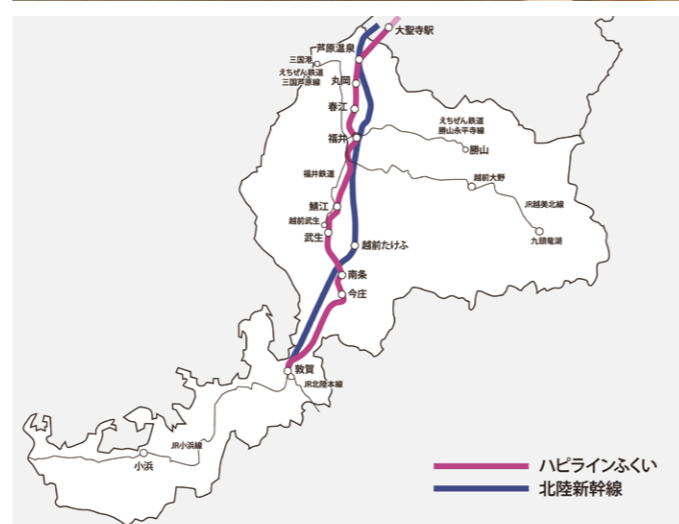


えちぜん鉄道



JR西日本

あなたも通勤方法を見直してみませんか
詳しくはこちら



福井鉄道が走る日常の風景

- ☎ 交通まちづくり課
☎ 0776-20-0774 ☎ 0776-20-0729
- ☎ 地域鉄道課
☎ 0776-20-0723 ☎ 0776-20-0729

特集① 未来へつなぐ地域公共交通

住む人 来る人がもっと便利な福井を目指して

地域に欠かせない公共交通を守るために

電車やバス、タクシーなどの地域公共交通は、通勤通学をはじめ、通院や買い物、観光など、日々の生活に幅広く利用されています。

近年、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響などで利用者が減少し、交通事業者の経営状況は厳しさを増していますが、子どもや高齢者をはじめ、誰でも気軽に利用できる公共交通は、地域に欠かせない存在です。

昨年4月、県は、嶺北市町や交通事業者等とともに「嶺北地域公共交通活性化協議会」を設立。持続可能な交通ネットワークの構築、新幹線からの利便性の高い二次交通の整備、移動を楽しめる仕掛けづくりの3つの視点から幅広く議論し、来年度中に計画を策定し、事業化を図っていきます(嶺南地域は令和2年3月に計画策定済)。

新幹線開業に向けて二次交通を楽しく便利に

新幹線駅から観光地への移動を便利にするため、県は市町や交通事業者等とともに、デジタル技術を活用した

遺跡博物館の開館にあわせて、JR越美北線で朝倉氏の家紋や武将が描かれたラッピング列車「戦国列車」を初めて運行しました。

地域に密着した県民鉄道を目指して

来年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に伴い、並行在来線(北陸本線 敦賀駅〜大聖寺駅間)の運営主体がJR西日本から株式会社ハピラインふくに変わります。

取り組みを進めています。

例えば、バス時刻表や運賃情報のオープンデータ化により、スマートフォンで路線バスの経路検索ができるようになりました。また、市町や交通事業者が進めるMaas*(マース)の導入を支援しています。Maasは、目的の地までのルート検索や利用する交通手段の予約・決済をスマートフォンなどで一括して行える仕組みのことです。昨年11月には、JR西日本が北陸エリアも対象とした観光型Maas「tabiwa(タビワ)」を導入し、周遊バスの販売を始めました。

公共交通のキャッシュレス化も進んでいます。路線バスは、来年度中に交通系ICカードを導入する予定で、ICOCA(イコカ)やSuica(スイカ)などによるキャッシュレス決済が可能となります。タクシーは、現在、県内の約8割がキャッシュレスに対応しています。

移動そのものが楽しくなる取り組みも行っています。福井駅と恐竜博物館を直通で結ぶ「恐竜バス」は、恐竜AR体験ができる専用タブレットを搭載するなど機能を充実(恐竜博物館リニューアル工事に伴い今年夏まで運休)。昨年10月には県立二乗朝倉氏

わかります。同社は、県と県内全市町、民間企業等が出資し、令和元年8月に誕生した鉄道会社です。安全・安定運行の確保はもちろん、通勤・通学時間帯の増便や新駅の設置、パーク&ライド駐車場の整備など、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

県では今後も、住む人にとっても来る人にとっても便利で、持続可能な公共交通ネットワークづくりを進めていきます。

知事メッセージ みなさんと一緒に

公共交通を積極的に利用しましょう

公共交通を維持していくためには、県民一人ひとりが公共交通を利用し、支えていくことが大切です。また、来年は新幹線もやってきますので、恐竜バスをはじめ移動が楽しくなる仕掛けをつくるなど、「公共交通のエンタメ化」にも取り組んでいきます。



知事 杉本 達治